

第60回稚内みなと南極まつり

4年ぶりに
開催！！

最北の街の短い夏を彩る一大イベント
「稚内みなと南極まつり」が4年ぶりに
開催されます！

今年度で60回を迎え、「北海てっ
ぺんおどり」「南極おどり」の2つの
踊りや「わっかない観光物産まつり」、
「稚内副港ボートレース」や「花火大
会」など、涼しい稚内の夏を熱く盛り
上げます。



稚内港北防波堤からの花火打ち上げ

【8月5日（土）】

- 11：00～12：00 南極樺太犬慰霊祭
- 12：00～14：00 子ども縁日コーナー
- 12：00～20：30 第41回わっかない観光物産まつり
- 18：00～18：50 北海てっぺんおどり
- 19：00～19：35 南極おどり
- 19：45～20：15 第60回記念イベント（南中ソーラン演舞など）

【8月6日（日）】

- 9：00～16：00 稚内副港ボートレース2023
- 12：00～21：30 第41回わっかない観光物産まつり
花火大会ビアガーデン
- 20：30～21：15 大花火大会



稚内副港ボートレース



北海てっぺんおどり・南極おどり

日本のてっぺん「稚内」にぜひお越しください♪

【お問合せ】

稚内市企画調整課 広報・広聴グループ
（稚内みなと南極まつり実行委員会 宣伝部）
TEL：0162-23-6387

留萌港が綺麗になりました！！

みなとオアシスるもい「Port Clean in 留萌」を実施！

令和5年7月14日（金）に留萌港大町地区で「みなとオアシスるもい運営協議会」主催による「Port Clean in 留萌」（ゴミ拾い）を実施しました！

今年で2年連続の実施となったこの事業は、「海の月間」に併せ、留萌港内のゴミ拾いを実施するものです。



「みなとオアシスるもい」のぼり旗、ベスト着用によるPR



ゴミ拾いの様子

今回ゴミ拾いを実施した留萌港大町地区は、冬季の越波等により、流木等が大量に堆積されており、「みなとオアシスるもい運営協議会」の呼びかけで集まっていた、約80名の皆様により当日7時からゴミ拾いを行いました。

最終的には、流木、漁網、浮等約2.5トンものゴミを回収することができ、環境美化を図ることができました！

今後も引き続き、留萌港の環境美化を図る事業を実施していきたいと考えております。留萌港を利用される皆様におかれましても、留萌港の環境美化へのご理解、ご協力いただきますよう、引き続きよろしくお願いいたします。

※「NPO法人北海道みなとの文化振興機構」の助成事業により実施しました。

（みなとオアシスるもい運営協議会）

「海の日」 海事関係功労者大臣表彰を伝達 海をきれいにするための一般協力者表彰

国土交通省では、毎年「海の日」に、多年にわたり海事関係事業等に貢献された方々に対して大臣表彰を行っています。

北海道開発局の推薦により、「海をきれいにするための一般協力者」として、網走港内及び周辺海浜において多年にわたり清掃活動を行い港内の環境美化に貢献したことが他の模範となるにふさわしいと認められ、網走セーリング協会“北緯44度”（網走市）が表彰されました。

7月26日（水）網走開発建設部において大臣表彰伝達式が行われ、草薙網走開発建設部長から表彰状と副賞の盾が贈られました。

受賞された網走セーリング協会“北緯44度”の高田巧会長からは「とても栄誉あることと思います。風と楽しく遊ぶヨットの普及を目指し、地域貢献に向け邁進して参ります。」などのお礼の挨拶がありました。



前列左から榊原事務局長様、高田会長様、佐藤理事長様
後列左から根田次長、草薙部長、山口次長

長年にわたる活動ありがとうございます

～港湾空港関係功労者表彰及び海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰～

北海道開発局では、様々な団体と連携した港湾空港整備事業の効果的な推進を目的として、「北海道開発局港湾空港関係功労者表彰」及び「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を実施しています。

今年度の「港湾空港関係功労者表彰」は、前羽幌町長の駒井久晃氏(故人)及び三協建設(株)の堀松秀樹社長に、また、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」は、Canal Clean Team (カナル・クリーン・チーム) (株)西村組及び藤建設(株)に決定し、7月25日(火)表彰式が執り行われました。

表彰式では、北海道開発局鈴木港湾空港部長から感謝状、表彰状が授与され、その功績を讃えるとともに、改めて感謝の意を表する挨拶がありました。

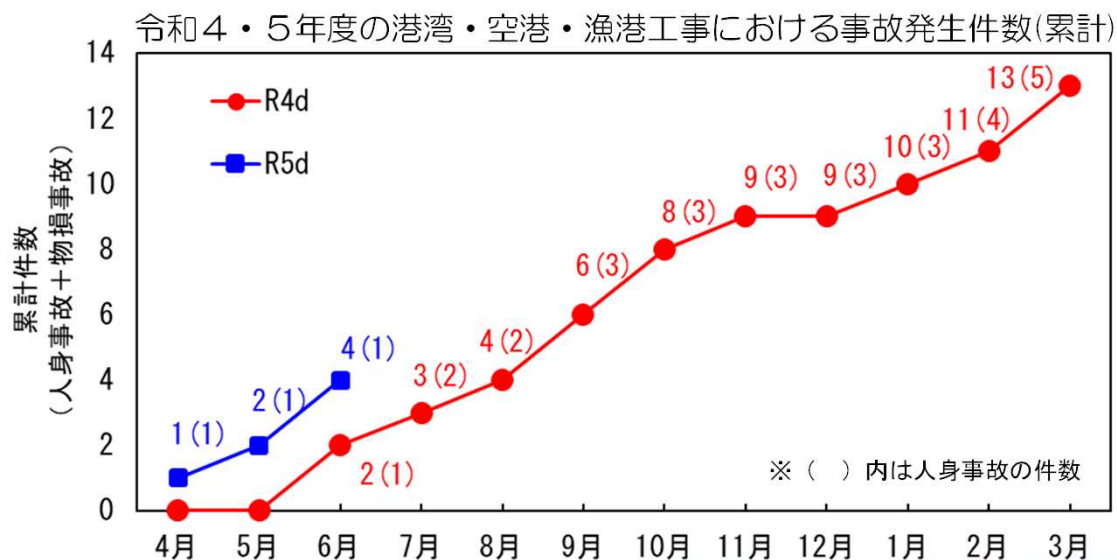
各受賞者の皆様からは、港湾にまつわる故人との思い出、企業活動や清掃活動に対する熱い思いなどが語られるとともに関係者の方々に対する謝辞等が述べられました。



表彰を受賞された方々（前列右から堀松秀樹様、駒井千晶様（駒井久晃様代理）、鈴木港湾空港部長、Canal Clean Team様、(株)西村組様、藤建設(株)様

本局職員による工事安全パトロール

第2四半期に入り、今後、港湾・空港・漁港工事も最盛期を迎えます。港湾・空港・漁港工事における事故発生件数を見ますと、昨年度は第2四半期から急増しています。



各事務所においては、工事安全パトロールを定期的を実施していますが、日常的に現場を担当していない本局職員も積極的に現場を確認することで、事務所職員とは異なる目線で危険の芽を摘み取り安全対策の強化を図ります。

港湾管理者の皆様におかれましても、直轄工事現場をご確認いただくことで直轄職員とは異なる視点でパトロールが可能となるほか、事業の進捗も確認できますので、ご希望がありましたら、各事務所にお問い合わせください。

(港湾空港部 港湾建設課)



港湾行政講座 9 時間目！

今回はちょっと趣を変えてお金関係のお話。

これまでの港湾行政講座では、港湾施設の管理について、港湾管理者や利用者の方々に知ってもらいたい手続、施設のNGな使い方をお知らせしましたが、今回はこれまでとひと味違って、補助金や交付金のお話…。

読者の皆さんにとって「なるほど～」となるか「そんなの知ってるよ」となるか、はてさて。まずはお付き合いください。



「補助金」も「交付金」も必要だから交付額を使い切るもの。

補助金も交付金も、もとは国民の税金です。その使い方は「事業計画」に基づいて、目的を持ったものでなければなりません。

そのため、交付を受ける元になる事業計画を変更する時は、変更の承認が必要です。

また、必要として交付されたのに、著しい使い残し（不用額）が生じた場合は「その交付額は本当に必要だったの？」という見方をされてしまいます。

事業計画の変更や、不用額が出そうなときは早めにご相談を。必要なお金のご利用は計画的に。



支払い手続きは大変なんです。（請求はお早めに）

国や地方公共団体の支払は、出納整理期間内（通常、翌年度の4月中）に終わらせる必要があります。しかし、補助金や交付金は年度内（3月中）に支払いを終えなければなりません。〔予算決算及び会計令第4条〕

そして、年が明けて1月になると、支払シーズンの到来、支払手続きには2週間以上必要です。完了検査後、速やかに支払を受けるためにも、港湾管理者の皆さんは早めの準備（2月末までに支払に必要な書類の整理）をお願いします！



冬期間の工事に要注意！

冬期間（一般に11月から翌年3月）に工事を行う場合は、基本的に冬期補正として、現場管理費率の冬期割り増しや、生コンの材料加熱費を考慮しなければなりません。冬期補正を考慮しないことで、受注者への負担が生じることとなり、ひいては工事の品質低下につながる場合がありますので、十分に注意してください。

（港湾空港部 港湾行政課）



「水門&陸閘」継続調査します

海岸保全施設に設置された「水門・陸閘」操作規則策定について

各港湾の海岸保全施設（該当のない港湾もあります）に設置されている水門および陸閘の扱いについては、操作規則を定めることとなっており、すべての水門及び陸閘の操作規則が策定されているところです。

水門・陸閘等の操作規則の運用徹底及び管理体制の継続的改善について

策定された操作規則について実効性あるものとするため、令和5年4月26日に海岸4官庁（農水省農村振興局、水産庁、国交省水管理・国土保全局、国交省港湾局）連名で通知が発出されているところです。

通知には操作規則等に関し、海岸管理者（港湾管理者）の皆様に応じ、次のとおり求めています。

- ・ 実地訓練等を実施し、操作規則の実効性を確認する。
- ・ 訓練を踏まえた水門・陸閘等の管理体制の改善を継続的に行う。
- ・ 委託施設について、委託先体制の状況等を踏まえ、委託契約の定期的見直しを実施する。

！ 全国的に継続調査を行います

水門および陸閘の管理状況等については、昨年度から今年度にかけて、皆様に調査のご協力をいただいておりますところ、引き続き定例的に調査を行うこととなりました。

調査の具体的内容については、関係する管理者の皆様へ別にご案内いたします。

ご多忙のところお手数いただきますが、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

！ 必要に応じた改定等、お忘れ無く

水門および陸閘を新設や改修を行った際は、速やかに操作規則等の策定や改定を行っていただきますようお願いいたします。なお、地域の事由等で実質的に利用されていない水門および陸閘について、用途廃止されない限りは操作規則策定や訓練等、一定の措置が求められております。失念等無きようご注意ください。

（港湾空港部 港湾行政課）